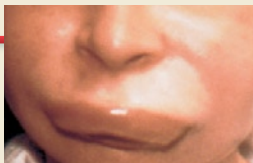


## 血管性浮腫の鑑別診断

監修: 浜松医科大学皮膚科 橋爪 秀夫

### 血管性浮腫のみの場合



### 遺伝性血管性浮腫 (HAE: Hereditary angioedema) を疑う

#### 症候

- 圧痕を伴わない境界不明瞭な浮腫
- 多くの場合、非対称で遊走性
- 体のどんな部位にも発症
- 喉頭、咽頭、舌に発症すると窒息の危険あり
- 時に挿管や気管切開を要する
- 腸管浮腫は急性腹症を呈する場合がある
- X線写真で腸壁浮腫やまれに腹水の所見あり
- 辺縁紅斑: HAEで時にみられる隆起しない蛇行状または輪状の蕁麻疹様の紅斑

#### 症状と既往歴

- 再発性の腫脹
- 四肢の浮腫は痒みがなく、時に痛みを伴う
- 胃腸の激痛発作
- 急性腹症  
再発性  
開腹しても診断不明
- 確実な家族歴
- 抗ヒスタミン薬、ステロイド薬、エピネフリンに反応不良または無反応
- 多くの場合、明らかな誘因がなく突然発症する
- 以下の誘因が知られている  
外傷、感染症、精神的ストレス、虫さされ、食べ物、ウイルス (EBV)、  
経口避妊薬、月経、手術 (歯科処置)、ACE阻害薬



#### 検査所見

- 腹痛発作時には白血球数が増加する場合がある
- C4の低下  
およびC1-インアクチベーター (C1-INH) の量または活性の低下

#### コンサルテーション

- HAEを疑う場合、C4のスクリーニング検査を行ってから、アレルギー専門医またはHAE情報センター掲載医師へ紹介する